

文化観光局

あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA

～「チーム文化観光局」による「選ばれる都市 横浜」の実現～

○ 持続可能な文化観光施策の推進

令和4（2022）年度は、新型コロナウイルスの感染状況を慎重に見極めながら、コロナ禍からの回復を見据えた施策を推進し、横浜経済の力強い回復と賑わいの創出につなげます。

文化芸術創造都市施策では、ダイナミックな光と音楽の演出により、都市の新たな夜景を街ぐるみで創り出す「創造的イルミネーション（ヨルノヨ）」や、市民参加・次世代育成・社会包摂・賑わいづくりを柱とした横浜らしい音楽フェスティバル「横浜音祭り2022」の開催など、都心臨海部における都市空間の優位性と文化芸術の創造性を生かした横浜らしい魅力を創出します。また、地域特性等に応じた区民文化センターの整備や機能強化を進めるとともに、子どもたちの豊かな創造性や感受性を育むため、学校や地域で文化芸術に親しむ機会の拡充を図るなど、心豊かな市民生活の実現に向けて、文化芸術活動の基盤を充実させます。これらの施策を通じて、コロナ禍で影響を受けている文化芸術関係者の活動機会を創出します。

観光・MICE施策では、横浜市観光MICE戦略の策定を進めるとともに、市場の回復状況に応じた国内外からの誘客促進・MICE開催支援に取り組み、持続可能な観光都市の実現を目指します。コロナ禍からの回復に向けては、観光キャンペーンにより観光需要喚起策を講じ事業者支援につなげるほか、安全・安心にMICEが開催できるよう主催者を支援するとともに、参加者の来訪を促し、消費活動の喚起につながる取組を推進することにより、市内経済活性化を図ります。

○ 「選ばれる都市 横浜」の実現に向けて

局事業の基盤となる4つの柱を中心に、「次世代育成（クリエイティブ・チルドレン）」と「社会包摂（クリエイティブ・インクルージョン）」を分野を超えた局の共通理念として、客観的なデータに基づくPDCAと事業ごとの効果的なプロモーションを進めながら、SDGsを意識して施策を展開します。また、コロナ禍においても徹底した感染症対策のもと、持続可能な魅力づくりと賑わい創出を推進し、市民の皆様にとって誇れるまち、国内外から「選ばれる都市 横浜」の実現を目指します。

客観的なデータに基づく施策のPDCAと効果的なプロモーションの推進



共通理念 「次世代育成 クリエイティブ・チルドレン」と「社会包摂 クリエイティブ・インクルージョン」の推進



徹底した新型コロナウイルス感染症対策のもと
文化芸術・観光MICEによる持続可能な魅力づくりと賑わいを創出



「選ばれる都市 横浜」の実現

○ 目標達成に向けた組織運営

共感・協働を大切に

現場を知り、現場の声をしっかりと受け止めるとともに、市民、企業、NPOの皆様といった多様なステークホルダーとの対話を大切にして信頼を築きます。関係機関・関係区局との連携・協働を進め、状況の変化に柔軟に対応しながら、文化芸術・観光MICE施策を前進させます。

果たすべき役割を 意識して行動する

財政の持続性を確保しながら市民の皆様や社会の要請に応えるため、エビデンスに基づき、前例にとらわれない広い視野と柔軟な発想力をもって業務に取り組みます。基本目標の達成に向け、職員一人ひとりが自分の役割を自覚し、ヨコハマを愛し、横浜の魅力を内外に発信します。

人材育成と 職場づくり

職員一人ひとりが意欲・能力を発揮し、チーム力を高めるため、業務や職位の壁を越えて活発な議論ができる、風通しの良い職場づくりに取り組みます。全ての職員が超過勤務縮減・休暇取得促進に努め、多様な働き方を推進し、働きやすい職場づくりを進めます。

横浜らしい魅力を世界に 発信する文化芸術創造都市 づくりを推進します (文化芸術創造都市推進部)

■創造界限形成事業

歴史的建造物や公共空間等、都心臨海部の地域資源を有効活用した創造界限拠点の運営・管理を行い、アーティスト・クリエイターの集積や地域との連携を通して、まちの賑わいづくりを進めます。

〈創造界限拠点〉

旧第一銀行横浜支店、BankART1929、急な坂スタジオ（旧老松会館）、象の鼻テラス、初黄・日ノ出町地区、THE BAYS（旧関東財務局）

■アーツコミッション事業

アーティスト・クリエイター、NPO、市民の皆さんなど様々な創造の担い手をサポートする「アーツコミッション・ヨコハマ」（運営：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）を開設しています。ワンストップ相談窓口や各種助成、SNS・ウェブマガジンによるプロモーションのほか、アーティスト・クリエイターの活動を発信する「関内外OPEN！」等、多様な人々の交流機会を創出するプラットフォームの運営を行っています。

遊休不動産を創造的に活用することでまちの活性化を進める芸術不動産事業について、共創フロントにより募集した民間パートナーと連携協定を締結し、公民連携で取り組む体制を構築しました。

また、国内唯一かつアジアで最も影響力のある舞台芸術プラットフォームである「横浜国際舞台芸術ミーティング（YPAM）」が12月に開催されました。

■ヨコハマ・パラトリエンナーレ事業

障害のある方をはじめとする市民の皆さんと、アーティストなどの多様な分野のプロフェッショナルとの協働によるアートプロジェクト『ヨコハマ・パラトリエンナーレ』を開催し、誰もが居場所と役割を実感できる社会の実現を目指します。

令和3年度は、パラトリエンナーレのレガシーの発信を目的として、取組を紹介する映像上映や展示、学校・事業者向けの「ソーシャルサーカス」を活用した体験型プログラム開発を行いました。

■創造的イルミネーション事業

横浜のナイトタイムエコノミー活性化の契機とするため、都心臨海部において、横浜ならではの港を活かしたイルミネーションを実施し、街全体で光と音楽の演出を行います。街の回遊を促すため、新たに2つの会場でプロジェクトマップを行うとともに、街を巡って楽しむキャンペーンや、地域のイルミネーションとの連

携を進めます。

令和4年度 開催概要

会期：令和4年11月24日（木）から
令和5年1月3日（火）まで

会場：横浜都心臨海部

主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

■映像文化都市づくりの推進

本市が誘致した東京藝術大学大学院映像研究科等と連携して、横浜から魅力ある映像文化を発信します。

〈東京藝術大学大学院映像研究科〉

- ・映画専攻 平成17（2005）年4月開設
- ・メディア映像専攻 平成18（2006）年4月開設
- ・アニメーション専攻 平成20（2008）年4月開設

〈東京藝術大学による地域貢献事業〉

- ・各専攻による公開イベント
令和4（2022）年7月～令和5（2023）年3月
- ・トワイライトコンサート、馬車道コンサート
令和4（2022）年11月
- ・各専攻による市民公開制作展
令和4（2022）年1月～令和5（2023）年3月
- ・アニメーションワークショップ
令和4（2022）年7月

■創造的ビジネス事業

アーティスト・クリエイターをはじめとするクリエイティブな人材や企業等を支援するため、様々な社会課題をクリエイティブに解決する事業等への助成を行うとともに、横浜のアート市場の活性化に向けた取組を行いました。

■創造都市市民連携

「まち全体をステージに」をコンセプトに、まちの賑わいや来街者の回遊性を創出する「横濱JAZZ PROMENADE」や、市民ミュージシャンを主とした出演者による国・ジャンル・性別・障害等の垣根を超えたコンサート「ホッチポッチミュージックフェスティバル」など、イベントの開催支援を行います。

- ・横濱 JAZZ PROMENADE 2022
令和4（2022）年10月8日・9日
- ・ホッチポッチミュージックフェスティバル
令和4（2022）年10月23日

■創造都市ネットワーク日本

創造都市の取組を推進する地方自治体等で構成する「創造都市ネットワーク日本（CCNJ）」と連携して、各種会議等を実施するなど、文化芸術創造都市・横浜の発展と発信に取り組みます。

また、国際展開に携わる自治体等の交流ネットワークである「現代芸術の国際展部会」を事務局として運営します。

■クラシック・ヨコハマ推進事業

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、コンクールに出場した国内屈指の若手演奏家に演奏機会を提供するとともに、市民の皆様身近な場所でクラシック音楽を楽しんでいただく音楽イベントを実施します。

実施期間：令和4（2022）年11月5日～令和5（2023）年1月15日

■地域文化サポート事業（ヨコハマアートサイト）

地域課題の解決にアプローチするために、文化芸術の持つ創造性をコミュニティやまちの活性化と結びつける活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を広く公募し、支援します。

令和3年度 29事業を採択

■芸術文化教育プログラム推進事業

次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力等を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、文化施設等とのネットワークにより実施します。

令和3年度 市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校 140校程度で実施

■ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン推進事業

次世代を担う演奏家の育成を目的に、若手演奏家に対して、世界の第一線で活躍する指揮者や演奏者が講師となって、横浜で集中セミナーを実施します。成果を発表する場として、室内楽等のコンサートを開催します。

・ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン

ヨコハマ2022セミナー実施期間

令和4（2022）年6月30日～7月10日

■フランス映画祭支援事業

街の賑わいづくり及び横浜市とフランスの友好関係を強固なものとするを目的に横浜で開催される映画祭を支援します。

開催期間：令和4（2022）年12月1日～4日（4日間）

■横浜市文化基金の積立

文化基金は、美術品等の収集、文化施設の建設を目的に昭和56年4月に設置されました。基金は、市費による積立と、市民の皆さん、企業等からの寄附で成り立っています。

文化基金積立状況（令和3年度末）

累計 9,502,206千円

文化基金で購入した美術作品 5,375点

※市民の皆さん等から寄贈された美術作品 7,582点

文化基金で購入した美術作品と市民の皆さん等から寄贈された美術作品は、横浜美術館でコレクション展示として一般に公開します。

■公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

事務局 中区山下町2 産業貿易センタービル1階

TEL：045-221-0212 FAX：045-221-0216

<https://p.yafjp.org/>

芸術文化事業や文化情報の発信など、次のような事業を行っています。

- (1) 芸術文化の創造及び発信
- (2) 芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供
- (3) 芸術文化振興のための助成
- (4) 芸術文化活動拠点の開発及び運営
- (5) 芸術文化資源の収集、保存及び活用
- (6) 芸術文化に関する情報の収集及び提供
- (7) 芸術文化振興に関する調査研究及び政策提言
- (8) 芸術文化振興のための国内外との交流
- (9) その他芸術文化振興を推進するための事業

■文化施設運営

各指定管理者等による文化施設運営を通じて、各種の文化事業を実施します。なお、区民文化センターは区が所管しています。

横浜美術館

所在地 西区みなとみらい3-4-1

TEL：045-221-0300 Fax：045-221-0317

<https://yokohama.art.museum/>

美術を「観る」「創る」「学ぶ」の3つの機能をあわせ持つ総合美術館

- 1 事業 企画展・コレクション展の開催、美術情報センター（美術情報ギャラリー及び美術図書室）、子どものアトリエ・市民のアトリエの運営等
- 2 施設内容 グランドギャラリー、展示室、アートギャラリー1・2、子どものアトリエ、市民のアトリエ、レクチャーホール（240席）等
- 3 開館年月 平成元年11月
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団
- 5 備考 令和3年3月から令和5年度まで大規模改修のため休館

横浜みなとみらいホール

所在地 西区みなとみらい2-3-6

TEL：045-682-2020 Fax：045-682-2023

<https://yokohama-minatomiraihall.jp>

理想的な音響、美しい音色のパイプオルガンなどを備えた国内有数のコンサートホール

- 1 事業 音楽公演等
- 2 施設内容 大ホール（2,020席・他車椅子用スペース14席）、小ホール（440席）、リハーサル室、練習室、レセプションルーム
- 3 開館年月 平成10年2月（小ホール）、5月（大ホール）
- 4 指定管理者 （公財）横浜市芸術文化振興財団
- 5 備考 令和3年1月から令和4年10月まで大規模改修のため休館

横浜能楽堂

所在地 西区紅葉ヶ丘 27-2 (掃部山公園内)
TEL : 045-263-3055 Fax : 045-263-3031
<https://yokohama-nohgakudou.org/>

県内初の本格的な能楽堂(染井能舞台を復原した本舞台は横浜市指定有形文化財)

- 1 事業 能、狂言その他古典芸能の公演等
- 2 施設内容 本舞台・見所(486席・車椅子スペース5席含む)、第二舞台、研修室、展示コーナー等
- 3 開館年月 平成8年6月
- 4 指定管理者 (公財)横浜市芸術文化振興財団

横浜市芸能センター(横浜にぎわい座)

所在地 中区野毛町 3-110-1
TEL : 045-231-2525 Fax : 045-231-4545
<https://nigiwaiza.yafjp.org/>

落語、漫才、大道芸など大衆芸能の専門館

- 1 事業 大衆芸能の公演
- 2 施設内容 芸能ホール(391席・車椅子対応可)、小ホール(最大141席・可動席)、練習室、制作室、情報コーナー等
- 3 開館年月 平成14年4月
- 4 指定管理者 (公財)横浜市芸術文化振興財団

横浜赤レンガ倉庫1号館

所在地 中区新港 1-1-1
TEL : 045-211-1515 Fax : 045-211-1519
<https://akarenga.yafjp.org/>

歴史的建造物を活用した自由で創造的な空間

- 1 事業 舞台芸術公演、アート作品展示等
- 2 施設内容 ホール(約150~350席・可動席)、多目的スペース(3室)等
- 3 開館年月 平成14年4月
- 4 管理運営 (公財)横浜市芸術文化振興財団

横浜市民ギャラリー

所在地 西区宮崎町 26-1
TEL : 045-315-2828 Fax : 045-315-3033
<https://ycag.yafjp.org/>

市民の皆さんに美術作品の創作・発表の場と鑑賞の機会を提供し、美術の奨励を図るための施設

- 1 事業 貸館、企画展、講座等
- 2 施設内容 展示室／アトリエ等
- 3 開館年月 平成26年10月に現在地に移転
- 4 指定管理者 (公財)横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体

横浜市民ギャラリーあざみ野

所在地 青葉区あざみ野南 1-17-3
TEL : 045-910-5656 Fax : 045-910-5674
<https://artazamino.jp/>

市民の皆さんに美術作品の創作・発表の場と鑑賞の機会を提供し、美術の奨励を図るための施設

- 1 事業 貸館、企画展、講座等
- 2 施設内容 展示室／アトリエ等
- 3 開館年月 平成17年10月
- 4 指定管理者 (公財)横浜市芸術文化振興財団

横浜市民文化会館 関内ホール

所在地 中区住吉町 4-42-1
TEL : 045-662-1221 Fax : 045-662-2050
<https://www.kannaihall.jp/>

芸術文化の振興や市民の皆さんの文化の向上等を目的とした文化施設

- 1 事業 音楽公演、舞台芸術公演、古典芸能公演
- 2 施設内容 大ホール(1,038席・車椅子12席対応可)、小ホール(264席)、リハーサル室等
- 3 開館年月 昭和61年9月
- 4 指定管理者 かないアート&メディアパートナーズ

横浜市吉野町市民プラザ

所在地 南区吉野町 5-26
TEL : 045-243-9261 Fax : 045-243-9263
<http://www.yoshinoplaza.jp/>

市民の皆さんの文化活動と交流を図るための文化施設

- 1 事業 音楽公演、舞台芸術公演、古典芸能公演、美術展等
- 2 施設内容 ホール(200席・可動席・車椅子席4席含む)、ギャラリー、スタジオ等
- 3 開館年月 平成元年7月
- 4 指定管理者 吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ

横浜市岩間市民プラザ

所在地 保土ヶ谷区岩間町 1-7-15
TEL : 045-337-0011 Fax : 045-337-2500
<http://www.iwamaplaza.jp/>

市民の皆さんの文化活動と交流を図るための文化施設

- 1 事業 音楽公演、舞台芸術公演、古典芸能公演、映像芸術公演等
- 2 施設内容 ホール(181席・可動席・親子席4席含む)、リハーサル室、スタジオ、ギャラリー等
- 3 開館年月 平成3年7月
- 4 指定管理者 吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ

横浜市大倉山記念館

所在地 港北区大倉山 2-10-1 (大倉山公園内)
TEL : 045-544-1881 Fax : 045-544-1084
<https://o-kurayama.com/>

深い緑に包まれた格調ある雰囲気をもった文化施設(旧大倉精神文化研究所本館、横浜市指定有形文化財)

- 1 事業 音楽公演、講座、貸館等
- 2 施設内容 ホール(80席・可動席)、ギャラリー、集会室
- 3 開館年月 昭和59年10月
- 4 指定管理者 日比谷花壇・西田装美共同事業体

横浜市長浜ホール

所在地 金沢区長浜 114-4 (長浜野口記念公園内)
TEL : 045-782-7371 Fax : 045-782-7389
<https://www.nagahama-hall.com/>

横浜検疫所長浜措置場のシンボル、旧事務棟を外観復元し、音楽ホールや野口英世博士ゆかりの旧細菌検査室を備えた文化施設

- 1 事業 音楽公演、貸館等
- 2 施設内容 ホール(104席・可動席)、多目的ルーム、音楽練習室、会議室、旧細菌検査室(別館)
- 3 開館年月 平成9年5月
- 4 指定管理者 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体

久良岐能舞台

所在地 磯子区岡村 8-21-7 (久良岐公園内)
TEL: 045-761-3854 Fax: 045-754-4050
<https://www.kuraki-noh.jp/>

閑静な日本庭園内に佇む、市民の皆さんに開かれた能舞台

- 1 事業 古典芸能公演、ワークショップ、貸室の運営 (謡曲等)
- 2 施設内容 能舞台・見所 (52 畳)、和室、茶室
- 3 開館年月 昭和 62 年 10 月
- 4 指定管理者 (株)シグマコミュニケーションズ

横浜市陶芸センター

所在地 中区本牧三之谷 59-3 (本牧市民公園内)
TEL: 045-623-8904 Fax: 045-625-9087
<https://www.yokohamasitougeicenter.com/>

自然豊かな公園内に設置された陶芸活動の場

- 1 事業 陶芸教室の開催と貸室の運営
- 2 施設内容 貸室、窯場、作陶室等
- 3 開館年月 平成 5 年 8 月体験学習施設として開館
- 4 指定管理者 シンリュウ (株)

横浜市大佛次郎記念館

所在地 中区山手町 113 (港の見える丘公園内)
TEL: 045-622-5002 Fax: 045-622-5071
<http://osaragi.yafjp.org/>

横浜ゆかりの文豪大佛次郎の文筆活動の業績と生涯を紹介する施設

- 1 事業 企画展、講座、貸室 (和室、会議室) の運営等
- 2 施設内容 展示室、和室、会議室等
- 3 開館年月 昭和 53 年 5 月
- 4 指定管理者 (公財) 横浜市芸術文化振興財団

ST スポット

所在地 西区北幸 1-11-15 横浜 ST ビル地下 1 階
TEL: 045-325-0411 Fax: 045-325-0414
<https://stspot.jp/>

演劇、ダンスのジャンルを中心に、若手アーティストの創造活動の支援を中心とした活動を行っている小劇場

- 1 事業 演劇、ダンスを中心とした芸術文化活動全般
- 2 施設内容 平土間型ホール 56m² (収容人数:40~60 席)、操作室、楽屋、ロビー
- 3 開館年月 昭和 62 年 11 月
- 4 管理運営 認定特定非営利活動法人 ST スポット横浜

文化施設整備事業

市民の皆さんが身近に文化芸術に接し、個性豊かな文化芸術活動を活発に行うことができる環境整備のため、身近な拠点となる区民文化センターを、各区の地域特性等に応じて整備を進めます。(次頁 区民文化センター 一覧表参照)

区民文化センター 一覧表 (令和 4 (2022) 年 8 月 1 日現在)

名 称	所 在 地	電 話	主なホールの席数
鶴見区民文化センター (サルビアホール)	鶴見区鶴見中央 1-31-2 シークレイン内	045-511-5711	546 席
神奈川区民文化センター (かなっくホール)	神奈川区東神奈川 1-10-1	045-440-1211	300 席
港南区民文化センター (ひまわりの郷)	港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおか中央棟 4 階	045-848-0800	381 席
旭区民文化センター (サンハート)	旭区二俣川 1-3 二俣川ライフ 5 階	045-364-3810	300 席
磯子区民文化センター (杉田劇場)	磯子区杉田 1-1-1 らびすた新杉田 4 階	045-771-1212	310 席
緑区民文化センター (みどりアートパーク)	緑区長津田 2-1-3	045-986-2441	334 席
青葉区民文化センター (フィリアホール)	青葉区青葉台 2-1-1 青葉台東急スクエア South-1 本館 5 階	045-985-8555	500 席
戸塚区民文化センター (さくらプラザ)	戸塚区戸塚町 16-17 戸塚区総合庁舎内	045-866-2501	451 席
栄区民文化センター (リリス)	栄区小菅ヶ谷 1-2-1	045-896-2000	300 席
泉区民文化センター (テアトルフォンテ)	泉区和泉中央南 5-4-13 相鉄ライフいずみ中央 3 階	045-805-4000	386 席
瀬谷区民文化センター (あじさいプラザ)	瀬谷区瀬谷 4-4-10 ライブゲート瀬谷 3・4 階	045-301-3500	148 席

観光・MICE を推進します (観光 MICE 振興部)

■観光資源の魅力アップと受入環境整備

観光地としての魅力向上、回遊促進に繋げるため、観光資源の磨き上げやコンテンツ造成を行います。また、観光等で訪れる多くの来街者に横浜の魅力を感じてもらえるように、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューローとともに観光案内所の運営、ウェブサイトやガイドマップ等での案内を行い、多様な来訪者が快適に滞在できる受入環境の充実を図ります。

また、横浜ならではの地域ブランド「ヨコハマ・グッズ『横濱001』」の販売促進支援や、三溪園、横浜マリントワー、横浜人形の家等の運営支援などを行っています。

■国内外からの誘客

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大で大きな影響を受けた市内観光事業者の支援のため、宿泊、滞在コンテンツの割引クーポンや日帰りツアーの割引販売等を実施しています。また、修学旅行等の誘致のための助成を行っています。

外国人旅行者に選ばれる観光地を目指し、入国規制の状況や変化する市場等に適宜対応しながら、中国及び米国に設置した現地拠点を活用して、情報発信や市場把握、旅行トレンドの変化等をふまえ、本市への誘客を進めています。

■集客イベント開催支援

市内外からの集客・まちの賑わい創出に繋がる、話題性・発信力の高い大規模集客イベントを支援します。

[主なイベント]

ザよこはまパレード、横浜開港祭、ワールドフェスタ・ヨコハマ など

■ MICE 誘致・開催支援

令和3年度は、昨年度に引き続き、「安全・安心な横浜MICE開催支援助成金」により、MICE主催者を対象に、オンライン経費、感染症対策費や会場費等を支援することで、安全・安心なMICE開催を促進し、市内経済活性化につなげました。

令和4年度も、同助成金における主催者支援を継続するほか、市内MICE関連産業の育成や商談会など、市内事業者のビジネス機会の創出につながる施策を実施します。併せて、引き続き経済波及効果の高い中大型の国際会議やビジネスイベント、政府系国際会議等の誘致を進め、グローバルMICE都市としての競争力を強化します。

■ MICE 施設運営支援

本市の中核的 MICE 施設であるパシフィコ横浜及び横浜アリーナの円滑な運営を支援します。

●パシフィコ横浜（株式会社横浜国際平和会議場）

所在地：西区みなとみらい 1-1-1

TEL 045-221-2155 FAX 045-221-2136

<http://www.pacifico.co.jp>

国際・国内会議及び文化・学術等各種催物、国内外商品等の見本市、展示会が開催される MICE 複合施設

1 事業：国際・国内会議及び文化学術等各種催物、国内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催

2 施設内容：国立大ホール約 5,000 席、会議センター大中小会議室約 50 室、展示ホール 20,000 m²、アネックスホール 1,350 m²、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル約 600 室

3 設立年月：昭和 62 年 6 月

●横浜みなとみらい国際コンベンションセンター（通称：パシフィコ横浜ノース）

所在地：西区みなとみらい 1-1-2

1 事業：貸館、国際・国内会議及びレセプション等の誘致企画

2 施設内容：多目的ホール約 6,300 m²
最大収容人数約 6,000 名
大中小会議室 42 室

3 運営事業者：パシフィコ横浜（株式会社横浜国際平和会議場）

●みなとみらい公共駐車場

所在地：西区みなとみらい 1-1-1

1 施設内容：最大収容台数 1,154 台（自動車）、44 台（自動二輪）

2 運営事業者：パシフィコ横浜（株式会社横浜国際平和会議場）

●横浜アリーナ（株式会社横浜アリーナ）

所在地：港北区新横浜三丁目 10 番地

TEL 045-474-4000 FAX 045-474-4040

<https://www.yokohama-arena.co.jp>

文化、スポーツ等各種催し物が催されるイベント施設

1 事業：各種催し物のためのイベント施設の賃貸、各種催し物の企画実施

2 施設内容：アリーナ面積 8,000 m²
最大収容人数 17,010 人

3 設立年月：昭和 61 年 11 月

横浜らしい特色ある芸術フェスティバルで街の賑わいを創出します。 (文化プログラム推進部)

■横浜トリエンナーレ

3年に一度行われる、現代アートの国際展「横浜トリ

エンナーレ」を通じ、文化芸術創造都市の推進を図る横浜市の取組を国内外にアピールします。令和3年度は第8回展の開催準備を進めます。

〈参考：第7回展開催実績〉

会期：2020年7月17日（金）～10月11日（日）

会場：横浜美術館、プロット48（みなとみらい21中央地区48街区）

アーティスティック・ディレクター：ラクス・メディア・コレクティブ

主催：横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

来場者数：約15万人（新型コロナウイルス感染防止のため入場制限を実施）

■横浜芸術アクション事業

「幅広い市民参加や次世代育成」、「世界水準の文化芸術による都市の魅力の国内外への発信」及び「賑わい創出と経済活性化」を基本理念に、横浜らしい特色ある芸術フェスティバルを継続的に開催します。

令和3年度実績

＜ダンス部門＞

横浜の“街”そのものを舞台としたダンスフェスティバル「Dance Dance Dance@ YOKOHAMA 2021」を開催しました。4回目となる2021年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けての開催となりましたが、万全の対策を講じながら、港町横浜ならではの「横浜ベイサイドバレエ」や横浜初演となる作品など、「横浜“発”、世界へ」を意識した多彩なプログラムを展開し、多くの方々にご来場いただきました。

● Dance Dance Dance@ YOKOHAMA 2021 開催概要

会 期：令和3年8月28日（土）～10月17日（日）（プレ期間5月1日（土）～8月27日（金）、ポスト期間10月18日（月）～11月30日（火））

会 場：横浜市内全域（横浜の「街」そのものが舞台）

来場・参加者数：約75,900人（主催・共催事業のみ）
※パートナー事業を含めた全プログラムの総来場・参加者数は12万人

プログラム数：149（主催・共催事業のみ）
※パートナー事業を含めた全プログラム数は205プログラム

令和4年度概要

＜音楽部門＞

市民参加・次世代育成・賑わいづくりを柱とした横浜らしい音楽フェスティバル「横浜音祭り2022」を万全の感染症対策を講じ開催します。

●横浜音祭り2022 開催概要

会 期：令和4年9月17日（土）～11月6日（日）（プレ期間5月1日（日）～9月16日（金）、ポスト期間11月7日（月）～11月27日（日））

会 場：横浜市内全域（横浜の「街」そのものが舞台）

プログラム数：約300

■日中韓都市間文化交流事業

平成26（2014）年の日本における東アジア文化都市事業の初代開催都市として、中国泉州市、韓国光州広域市と文化芸術による交流を通じて培った協力関係を一過性のものにすることなく、今後も交流を継続していきます。

令和3年度実績

令和3年度は、横浜市では3都市の青少年ブレイクダンスサーがオンラインを活用してオリジナルダンスの創作・合同練習を行い、成果をステージで披露しました。

また、横浜市内の創造界隈拠点と光州広域市のアートスペースのアーティストが映像作品を互いに送り、映像をどのように展示するかオンラインミーティングを重ねイメージを汲み取り、作品展示を実施しました。